
お客様のケーススタディ

Zuellig Pharma 社.

デジタルトランスフォーメーションをアジアのヘルスケア産業で実現



Zuellig Pharma社について

Zuellig Pharma社はアジアのヘルスケアサービスグループ最大手の一つで、アジア地域で拡大するヘルスケアニーズに対応するため、世界規模の流通、デジタル、商業サービスを提供しています。



making healthcare more accessible

創業から約100年で年商100億米ドルを超える企業に成長し、今ではアジア13カ国の市場を網羅し、従業員1万人以上を擁するまでになっています。

Zuellig Pharma社は、よりアクセスしやすいヘルスケアを目標に掲げ、アジアの32万を超える医療機関にサービスを提供しており、千件以上ある取引先には、世界の製薬会社の上位10社も含まれています。

近年同社は、アジアのヘルスケアの差迫ったニーズに対処する新たなサービスを創出するため、Zuelligヘルスソリューション・イノベーションセンターをオープンしました。以来、センターはデータの作成、デジタル、疾病管理のソリューションを構築し、慢性病患者への支援や患者の医療費管理のサポート等に注力してきました。また、ビッグデータを活用し、作業の精度や効率の最適化方法に関する自社や顧客の決定事項を周知するなど、進化を遂げています。

変革の経緯

- デジタル時代への対応推進のため、デジタルトランスフォーメーションと拡大イニシアティブに取り組む
- 全SAPランドスケープをAzureホスト環境に移行し、Megaportの接続を介したAWS上で次世代アプリケーションを実行
- 分析ワークロードのためのETLの抽出処理を150%以上削減
- リアルタイム分析に関する遅延を75%以上短縮
- コアSAPのAzureへの移行期間を30%以上短縮

課題

- Zuellig Pharma社は、効果的なデジタルトランスフォーメーション戦略を、ヘルスケア産業のテクノロジーとデジタルのイノベーションハブとなるビジョンの一つとして構築することを目的としていました。
- 同社のDX戦略は全社的かつ多層的なデジタル化の拡大と改革計画を包含したもので、自社のみでなく顧客やパートナーの基幹業務と事業活動を可能にするためのデジタルソリューションの「フロントエンド」を統合したエコシステムも含まれていました。
- 戦略の成功のためには、まず盤石なテクノロジーのインフラストラクチャとアーキテクチャの基盤を構築・強化し、目的の実現をサポートする必要がありました。
- 特に、目指す活動全ての基となる「データ交換流動性」のコンセプトの実現は必須でした。そのためには同様な取り組みを行う企業が通常直面する、パフォーマンスや遅延の課題を回避できる能力だけでなく、コストの節約も求められました。

「Megaportのコネクティビティに支えられた我社のデジタルトランスフォーメーション戦略により、デジタル化時代に向けて販売力を向上させることができました。これは出先でも簡単にリアルタイムでデータアクセスができることで意思決定の自主性が向上し、現場での競合有利性が大きく高まったからです。」

– Zuellig Pharma CIO (最高情報責任者)
Maikel Kuijpers氏

ソリューション

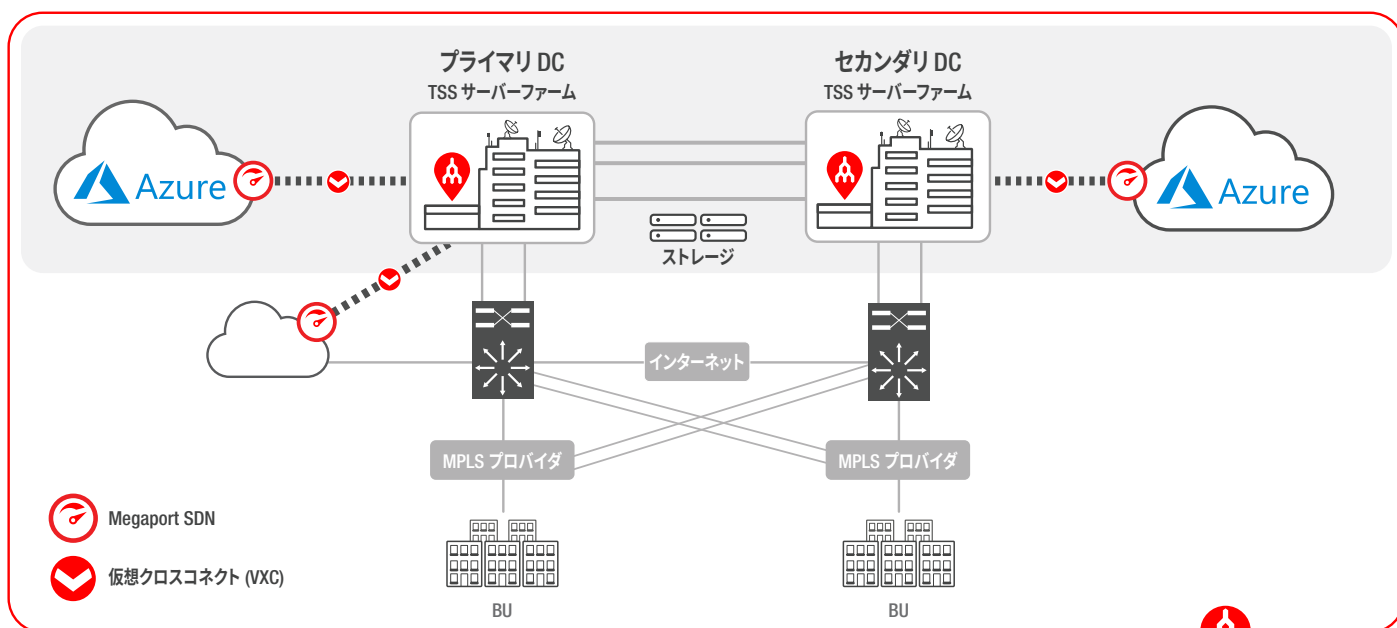
Zuellig Pharma社は多様なアプリケーションのエコシステムを活用したインテリジェントハイブリッドのマルチクラウドアーキテクチャを構築し、それにより日々の業務プロセスをデジタル化し、DX戦略を強化しました。Megaportのコネクティビティを基盤とすることで、同社は増え続けるデジタルエンドポイント間で流動性のあるデータ交換を促す、回復力のあるデータ統合レイヤを確立したのです。

IDC DXアワード

IDC DXアワードは、アジア太平洋地域でデジタル変革を成し遂げ、新たな価値を生み出した最先端の組織に贈られる賞です。Zuellig Pharma社のデジタルトランスフォーメーションプロジェクトは、アジア太平洋全域のエンドユーザー組織から募った600件以上の優れたプロジェクトの中から、シンガポール2018年インフォメーション・ビジョナリー（情報先見性）最優秀賞に選ばれました。

キーポイント

- Zuellig Pharma社は自社の全SAPランドスケープをオンプレミスのインフラストラクチャからAzureに依拠する環境に移行しました。これは自社のロジスティクス事業や、倉庫、取引の活動によるフットプリント合計65TB以上を持つ、40システムのプロダクションランドスケープに関わるものでした。
- 同社はまた、SAP HANAや、アプリケーションの要求に応じてデータの保管や取り出しができるSAPのデータベース管理システムを、企業資源計画(ERP)戦略に取り入れました。
- Zuellig Pharma社はAzureとAWS両方への接続をプロビジョンして、内部洞察、分析、機械学習や外部報告義務の全てに対応するために、クラウドSAP ERPシステムやTableauなどの次世代アプリケーションを実装しました。
- これらの目的を実現させ、初期のクラウド戦略を可能にした立役者は、容易かつ効率的で、適切な規模の接続により必要に応じていつでもどこへでもデータを移動させることができるMegaportのNaaSソリューションでした。
- Zuellig Pharma社はMegaportの柔軟なSDNのサポートによりアプリケーションのエコシステムとテクノロジーシステム間の超高速通信と相互通信の直行路を手に入れたのです。



「Megaportは我社が初めて経験する変革への道のりを、当初から専門家の立場で、独自の能力と決意をもって導いてくれました。彼らはソリューションを予定通りに導入するために、あらゆる努力を惜しみませんでした。」

– Zuellig Pharma CIO (最高情報責任者) - Maikel Kuijpers氏

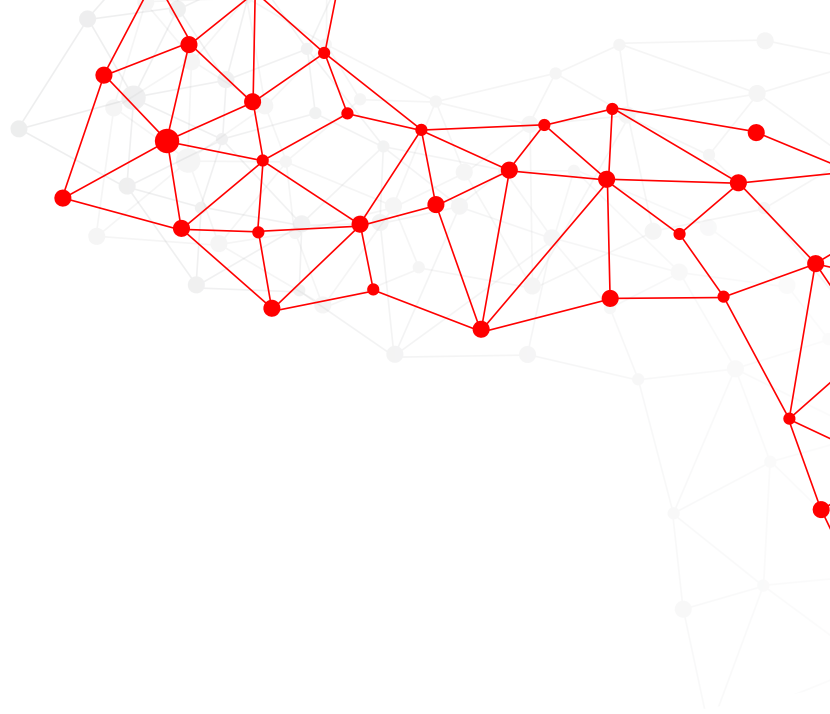
効果

Zuellig Pharma社はデジタル化時代への対応推進のため、デジタルトランスフォーメーションを急速に進め、データドリブンな企業となるための基礎作りに取り組みました。Megaportのオンデマンドでスケーラブルかつプライベートなネットワークにより、以下の効果がもたらされました。

- 同様の取組みを行う企業が通常直面するパフォーマンスや遅延の課題を回避できた
- データの処理、報告、分析の一体的かつ統合的な実施を、全社のみでなく、顧客やパートナー各社にも可能にした
- コアSAPのAzureへの移行期間が30%以上短縮された
- 分析ワークロードのためのETLの抽出処理が150%以上削減された
- リアルタイム分析に関する遅延が75%以上短縮された

今後の計画

- Zuellig Pharma社は今後さらに広い地域に拡大を続けるとともに、開発したアプリケーションを大規模に展開し、新たなヘルスケアのイニシアティブを推進していく予定です。
- 同社はMegaportネットワーク上で利用可能な他のプロバイダの追加を検討しており、クラウドの活用をさらに進めています。
- またクラウド間のソリューションとしてMegaportの仮想クラウドルータも検討されています。



より詳しい情報は
こちらから

コネクティビティを容易に

Megaportは100Gbpsのテクノロジーを活用し、クラウドサービスへの専用アクセスを提供する高スケールなNaaS（サービスとしてのネットワーク）です。当社のSDNネットワークは、世界各地の数百のデータセンターで企業とサービスプロバイダとの相互接続を可能にしています。高速、柔軟かつ動的なMegaportの接続ソリューションで、お客様のビジネスとMicrosoft、Google、Oracle、Amazon Web Services、Nutanix、SAP、IBM、SalesforceやAlibabaなど大手クラウドサービスを繋ぐ通信方法が大きく変わります。



megaport.com
info@megaport.com

電話: +61 7 3088 5999
ファックス: +61 7 3088 5998

Level 4, 825 Ann St,
Fortitude Valley, 4006, AU. ABN: 46 607 301 959

 @megaportnetwork

 @megaport

#GETAMEGAPORT